

●昔から伝わる伝統的な「七草がゆ」
初めて食べたけど、とてもおいしかった!!
1月7日、第2児童館で「七草がゆを食べよう」が行われ、行列ができるほどの大盛況で、用意した100食分が開始30分でなくなりました。七草がゆを食べるのには、「野菜の少ない時期に青菜を食べて、正月のごちそうで疲れた胃を休めたり、冬の間に不足しがちな栄養を補給する」という意味があると言われています。



これが春の七草。全部言えるかな？



●「リトグラフでお母さんの顔を描いたよ」
「子どもが描いてくれた絵、大切にします」
1月17日、富士見集会所で小学生の親子を対象にリトグラフ版画講座が開催されました。参加者「版画は彫るものと思っていたのに、彫刻刀を使わず簡単にできて不思議だね」「文字を反対に書かなければならないので難しいよ」などと話し合いながら、お互いをじっくり観察し、ていねいに描いていました。

●狭山市シニア芸能発表大会で成果を発表
1月24日、市民会館でシニア芸能発表大会が盛大に開催されました。参加した皆さんの練習の成果はとても見事でした。



●「県の旗まがたま十六心の輪」
郷土かるた大会で熱戦が繰り広げられました
2月1日、入間川小学校講堂で、第21回さいたま郷土かるた大会が開催され、団体・個人計254名の小学生が参加しました。子ども達は郷土かるたを通じて埼玉県のことを知り、郷土愛を深めました。高学年の優勝・準優勝者は3月の県大会に出場します。



私たちもこんな風に、しっかりと「まち」のことを見ているんです



●「こんな街になったらいいなあ」
中学生と市長が気軽な雰囲気に対談
1月31日、市内11校の中学生の代表と市長が「こんな街になったらいいなあ」のテーマに対談を行いました。中学生は緊張が解けてくると「高齢者が住みやすいまちにしたい」「たくさん残っている自然を守っていききたい」などと日ごろ考えていることを次々に発表。中には「多くの人が『狭山市に住みたい』と思うようなまちになるために、自分たちの行動が大切」と、将来を見据えた具体的な意見も出ました。

PHOTO NEWS

ひと・まち・写真館

あなたが写っていませんか？ 広報紙に掲載した写真は、広報課で撮ったものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。



若いパパが愛娘を連れて出席。
仲間に祝福されていました



第2部では代表者の一人が「明日があるさ」を熱唱。会場全体が明るい雰囲気になりました

●夢と希望を胸に、明るい未来へはばたけ!!
1月12日の成人の日、市民会館で第50回成人式が執り行われました。今年、新成人となったのは2,100人。晴れ渡った青空よりも明るい笑顔で、久しぶりに会った友人たちと近況報告をし、メールアドレスの交換や記念撮影に興じていました。式典では、各中学校の代表者が自らの考えや社会への思い、将来の抱負を語り、来場者が熱心に耳を傾けていました。



●ニラ^{まんじゅう}饅頭でスタミナをつけて 風邪に負けない体を作りましょう



1月28日、奥富公民館で「小麦粉」をテーマに料理教室が開催され、11名が参加しました。献立は飲茶でおなじみの「ニラ饅頭」。講師の説明に耳を傾けながら皮から手作りし、ニラやエビなどの具を詰めて焼き上げました。参加者からは「お店で売っている皮と食感が全然違う」「自分で粉を練って皮を作ったから、味も格別」「具たくさんでとてもおいしい。お弁当や子どものおやつにもぴったり」と好評でした。



●子どもは風の子！芝生の上を走り回って 「動物鳴き声カルタ大会」は大盛況

1月11日、こども動物園で「動物鳴き声カルタ大会」が行われ、約20名の子ども達が参加しました。鳴き声を聞いてその動物の絵札を探すこのカルタ、当日は12種類の鳴き声に8種類の絵札が用意されました。カセットレコーダーから流れてくる動物の鳴き声に耳を澄ましながら、食い入るように絵札を見つめ、いつもは部屋の中で楽しむカルタを、強く冷たい風の中、寒さに負けず元気に楽しみました。